



# 喜多流自主公演

令和三年九月

令和3年 9月26日(日)

12:00開演 (11:00開場)

## 十四世喜多六平太記念能楽堂

前売開始: 令和3年 7月1日(木) 午前10時~

料金: 全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階後席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円(25歳以下、要学生証提示)

- ・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。お気軽にご参加ください。
- ・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

・ご自身の身近に新型コロナウイルス感染症に感染した方、またはその可能性のある方がいらっしゃるお客様、入管法に基づく入国制限の対象となっている地域から日本への入国後14日間経過していないお客様のご来場はお断りいたします。

・会場入り口前で手指の消毒、検温を実施させていただきます。体温が37.5℃以上の方、あるいは体調の悪い方のご来場はお断りさせていただきます。

主催: 公益財団法人十四世六平太記念財団

協力: 一般社団法人喜多流職分会

後援: 品川区、品川区教育委員会

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会



### チケット予約購入のご案内

#### インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>  
(24時間対応、要登録・無料)

#### 【お受取り・お支払い】

##### ① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

##### ② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

#### 電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813  
(午前10:00~午後6:00 休館日あり)

#### 【お受取り・お支払い】

##### ① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

##### ② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

##### ③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

#### 窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813  
(午前10:00~午後6:00 休館日あり)

#### 【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。  
ご予約の際ご案内いたします。  
※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

### ご注意

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・当面のあいだ水分補給を除き、飲食はご遠慮くださいますようお願いいたします。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

当能楽堂は、政府、公益社団法人全国公立文化施設協会などのガイドラインに基づき、感染拡大防止のための対策ガイドラインを定めています。なお、本ガイドラインの内容は、新型コロナウイルス感染の地域における動向や専門家の意見などを踏まえ、必要に応じて適宜改訂を行うものとさせていただきますので、ご来場の前には当能楽堂 HP にてご確認ください。お客様におかれましては、ご自身の感染予防とともに周りのお客様にご配慮いただけますよう、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染対策ガイドライン

<http://kita-noh.com/covid-19-guidelines/>



### 喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ・ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ・お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
- ・ご観能の際は別途、座席指定券をご予約ください。
  - ・追加料金はかかりません。
  - ・ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。
  - ・年間優待券のみでの観能はできません。
  - ・ご入場の際は、年間優待券と座席指定券をご提示いただけます。
- ・本年度は延期になった前年度の振替公演です。ご利用は前年度(令和2年度)喜多流自主公演年間優待券をご利用ください。尚、前年度の予約済の指定席も有効です。
- ・青年能には使用できません。

### 自主公演観客席御案内



S席	9,000円	C席(1階後席)	6,500円
A席	8,000円	D席(2階席)	6,500円
B席	7,000円	学生席(2階席)	2,500円

### 会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。  
※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車での来場はご遠慮願います。

### 十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>

# 九月自主公演番組

能

シテ連・小野小町の霊 佐藤寛泰  
シテ・深草少将の霊 友枝雄人

## 通小町

ワキ・僧 館田善博

大鼓 亀井洋佑  
小鼓 森澤勇司 笛 小野寺竜一

後見 香川靖嗣  
高林昌司

金子龍晟 佐々木多門  
谷友矩 金子敬一郎  
友枝真也 中村邦生  
友枝雄太郎 内田成信

狂言

## 腰祈

シテ祖父 三宅右矩

アド・山伏 三宅近成  
小アド・太郎冠者 金田弘明

休憩(二十分)

能

後シテ夕顔の上の霊  
前シテ・里女

## 半部

谷 大作

ワキ・僧 大日方 寛

アイ・五条辺の者 高澤祐介

大鼓 亀井 実 松田弘之  
小鼓 曾和正博 笛

後見 友枝昭世  
内田安信

友枝雄太郎 高林呻二  
谷友矩 長島 茂  
塩津圭介 出雲康雅  
狩野祐一 栗谷充雄

休憩(十分)

仕舞

昭君

佐藤 陽

金子龍晟  
内田成信  
大島政允  
友枝真也

能

後シテ・閻魔王  
前シテ・鵜飼の霊

## 鵜飼

粟谷明生

ワキ・旅僧 森 常好

ワキ連・従僧 小林克都

アイ・石和の里人 前田晃一

大鼓 柿原弘和 太鼓 林 雄一郎  
小鼓 森 貴史 笛 杉 信太郎

後見 塩津哲生  
金子龍晟

狩野祐一 粟谷浩之  
佐藤寛泰 狩野了之  
佐藤寛泰 大村 定  
高林昌司 大島輝久

附祝言

終了予定時刻 四時五十分頃

### 通小町 (かよいごまち)

八瀬の里に住む僧の所に、毎日木の実や薪を届ける女がいる。ある日、名を尋ねると、市原野に住む者と答えて消える。僧が市原野に向いて叩くと、小野小町の霊が現れて叩きを喜ぶがそのあとを追って、やつれ果てた面ざしの四位深草の少将の霊が現れ、小町を引き留めてその成仏を妨げる。少将は、生前小町に恋をして、小町にその気がないと知らず小町に言われた通りに百夜通ったが、あと一夜という夜に思いを果たせず無念の死を遂げ、死後も地獄で苦しんでいるのだった。少将の霊はそのことを細々と物語り、恨みを述べるが、僧の叩いで二人揃って成仏する。

(約七十分)

### 腰祈 (こしいのり)

修行を終えた山伏が本国へ帰る途中、祖父を訪ねる。祖父にはりっぱになった山伏もまだ幼子のように見え、山伏にはすっかり年老いて腰の曲がった祖父の姿がなんとも気の毒で仕方がない。そこで山伏は、こんな時こそ修行の成果をとばかりに、祖父の腰を伸ばそうと懸命に祈り始めるのだが、孝行な山伏が、お祖父さんのために大奮闘するが、さて、祈祷の効果は。

(約二十五分)

### 半部 (はしとみ)

京都の紫野に住む僧が、一夏安居の修行を終え、草花を集めて立花(りつか)を供え、草木の供養を行っている。すると、どこからともなく若い女が現れ白い夕顔の花を捧げて、昔五条辺りに住んでいたと言いつつ残して花の陰に消える。(中人)僧がその言葉に従って五条あたりまで赴くと、夕顔の花の絡んだ半部戸を下ろした建物から夕顔の霊が現れる。そして光源氏に夕顔の花を折って白い扇にのせて差し出した縁で光源氏と結ばれたときの話をして舞を舞い、やがて半部戸の奥に消えて行く。

(約八十五分)

### 鵜飼 (うかい)

安房の清澄の僧が、甲斐の国石和川の畔に着く。僧は里人に一夜の宿を乞うが、御法度だからといって拒まれ、川岸にある御堂に泊まることをすすめられる。夜中に御堂に老人が入ってきたので何者かと僧が尋ねると、自分は鵜使だという。僧は老人に殺生の業を辞めるように薦めるが、老人は生きるためなので無理だという。従僧の一人が、二・三年前に同じような鵜使に宿を借りたいことを思い出し師の僧に話すと、それを聞いた老人はその鵜使は殺生禁断の場所を漁して罰を受け川へ沈められた事を語る。やがて老人はその鵜使は自分のことだと話し、懺悔として鵜飼の様子を見せて消え失せる。(中人)訪れてきた里人からもその鵜飼の話聞いて旅僧は川の石一つ一つに、法華経の経の文字を書き波間に沈めて鵜使を叩く。すると閻魔王が現れ、僧に宿を貸した事と法華経の功德により老人は成仏したと告げ、法華経を賛美するのであった。

(約八十分)

## 令和三年十月自主公演番組予告

令和三年十月二十四日(日) 正午始

十四世喜多六平太記念能楽堂

前売開始 八月二日(月) 午前十時

鬼界島 金子敬一郎

夕顔 粟谷浩之

枕慈童 香川靖嗣